

【2】見守りネットワークの構築

区長・民生委員・自主防災組織による見守り体制の構築 (おおい町)

基礎情報

実施地域	おおい町全域
実施主体	おおい町
所在地	おおい町本郷136-1-1
代表者	町長 時岡 忍

活動を始めたきっかけ

少子高齢化により一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯が増加し、今後も増加していくと予想される。
日頃から地域支援者が災害時要援護者を把握し見守ることにより、災害発生時に要援護者の安全確保に努められるよう取り組みを始めた。

見守り活動の担い手

- ・区長
- ・民生委員
- ・自主防災組織

見守り対象者

- ・身体障害者（1，2級）
- ・知的障害者
- ・精神障害者（1，2級）
- ・一人暮らし高齢者（65歳以上）
- ・高齢者のみの世帯（65歳以上）
- ・要介護者（2以上）
等

活動概要

- ・小学校区域ごとに、自主防災組織の立ち上げの説明会を開催。
- ・高齢者や障害者等の基礎情報・町で管理している情報を一元化し要援護者台帳を作成。普段の見守り活動や災害時の安否確認のため、災害時要援護者台帳（見守り対象者のうち区長、民生委員、自主防災組織等に個人情報を提供することに同意された方）を民生委員と区長に配布した。

見守りが必要な人の把握方法

区長、民生委員、自主防災組織は、町から提供される災害時要援護者名簿（見守り対象者のうち、区長・民生委員・自主防災組織等に個人情報を提供することに同意された方）により把握する。

活動の成果・異変発見事例

自主防災組織の立ち上げ数 12区（平成26年3月末）

工夫した点

見守り対象者には、普段から見守りを心がけている。（書類配布時の声かけやあいさつ等）

事業の財源

平成23年度は、地域支え合い体制づくり事業補助金を活用し要援護者システムにより台帳を整備した。

課題

町内各區で自主防災組織の立ち上げが進まないのが課題である。

今後の目標

自主防災組織担当課と協力し、出来るだけ多くの区で自主防災組織の立ち上げを目指す。